

投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	県土整備部土木局 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 佐々木良作 (課長補佐兼河川開発係長 渡邊弘昌)	内線	4408 (4433)
------	-------------------	---------------------	------------------------------------	----	----------------

事業種目	ダム事業	事業採択年度	S56		現計画	再評価時点
事業名	石井ダム建設事業	着工年度	S58	総事業費	325億円	325億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	146億円	141億円
事業区間	神戸市北区山田町下谷上			完成予定年度	H16	H16
所在地	二級河川新湊川水系烏原川（神戸市北区）			進捗率 (内用補進捗率)	89% (100%)	56% (96%)
事業の目的				事業内容		
河川改修に併せて石井ダムを建設することにより、新湊川沿川の洪水被害を防除する。				型式：重力式コンクリートダム ダム高：66.2m 堤体積：182千m ³ 総貯水容量：2,200千m ³ 治水安全度：1/100		
進捗状況	昭和56年度に事業採択後、地形測量・地質調査・環境調査等を進め、平成9年度には神戸電鉄の付替工事を完了し、平成12年度には本体工事に着手した。現在堤体コンクリートの約70%の打設が完了しており、今後、非出水期となる平成16年11月に試験湛水を開始し、平成16年度の完成を目指す。					
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> 烏原川の下流新湊川沿川は、背後に六甲山系を抱えた密集市街地であるため、これまでに幾度となく甚大な被害を受けている。このため、石井ダムを含む上流ダム群と河川改修によって、100年確率規模の洪水を安全に流下させる必要がある。 					
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> $B/C = 13.46$ $C'/C = 1.33$ 新湊川は、既に河川災害復旧助成事業により河積を拡大して竣工しており、今後は、石井ダム等の洪水調節により治水安全度を高める計画としている。 					
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 過年度の環境調査において、貴重植物のサツキが確認されており、この保全対策として栽培試験や現地移植試験を実施している。また、切土法面を少なくする工法の採用や堤体の形状・デザインを委員会で検討するなど、事業全般において環境や景観に配慮し事業を実施している。なお、石井ダムは都市近郊にあるダムであるため、堤体内ホールを設け、県民に解放することを考えている。 					
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 新湊川の下流部は、密集市街地を流れ、災害発生時には甚大な被害が予想される。また、平成10年9月の台風7号で床下浸水633戸・床上浸水404戸、平成11年6月豪雨で床下浸水191戸・床上浸水274戸と、近年も2年続けて甚大な浸水被害を受けており、沿川の再度の浸水被害を防止するため本事業の優先性は高い。 					
再々評価の結果	事業継続	左の理由	上記理由により、事業継続が妥当である。			